



咸新小学校跡地の 利活用に係る 地元説明会

2023年11月17日(金)

敦賀市教育委員会

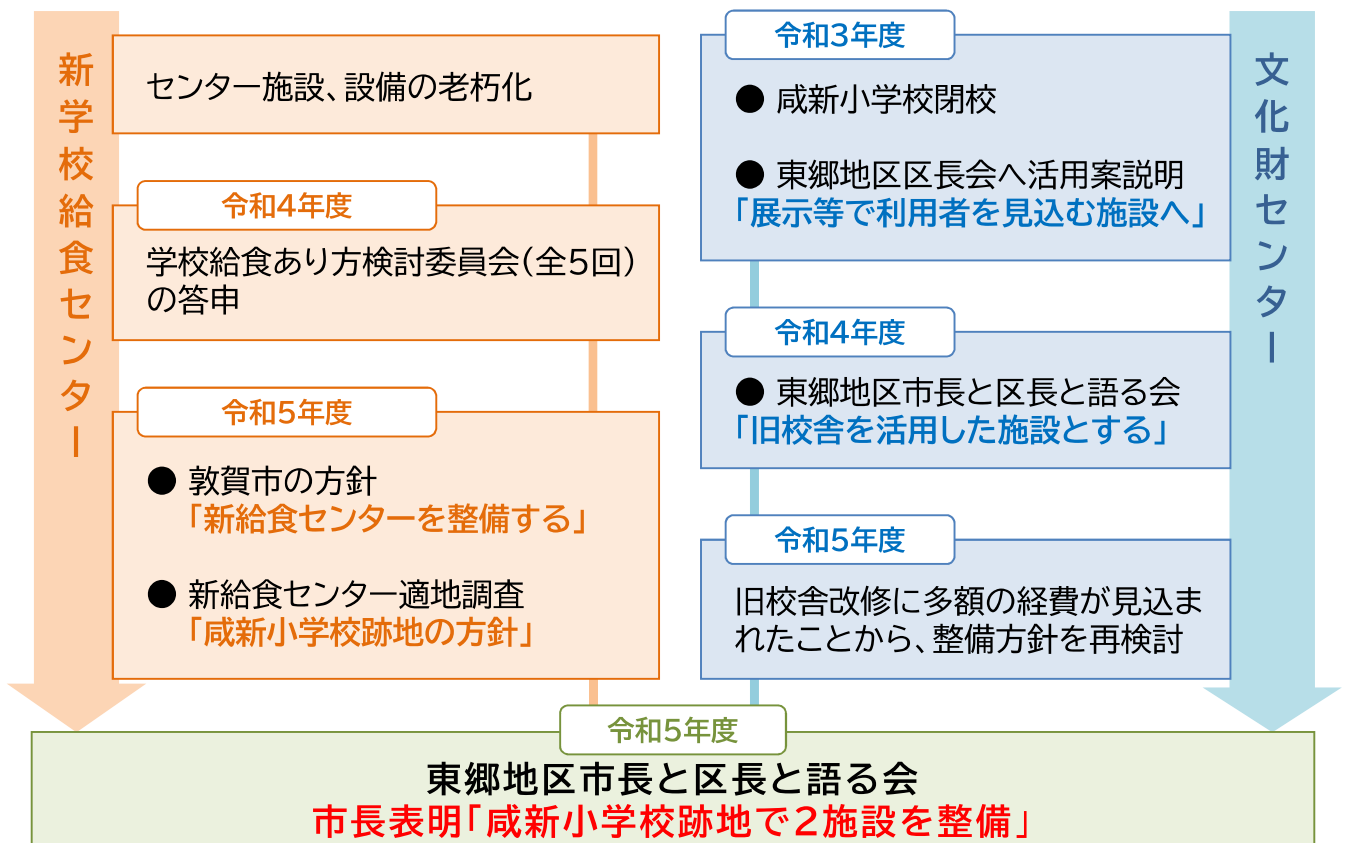
説明事項

1. 咸新小学校跡地の利活用方針
2. 新学校給食センターの整備
3. 文化財センターの整備

1

咸新小学校跡地の 利活用方針

跡地利活用の検討経緯



整備イメージ



咸新小学校跡地での整備ポイント

整備したい理由

- 市有地の利活用
- 災害に強い土地(浸水、土砂災害など)
- 幹線道路(国道8号線)が近く各学校へのアクセス良好
- 敦賀最大の古墳である向出山1号墳や、深山寺経塚等に近い立地

深山寺経塚出土銅鏡



人が集うエリアに

～2施設連携による見学・校外学習の場～

- 学校給食センター
食育としての見学の場
- 文化財センター
地域の文化、歴史学習の場

災害時の対応により 強い土地へ

炊き出し場所となる
給食センターが
東郷地区にできる



2





新学校給食センターの整備

現在の学校給食センター



| | | |
|---------|---------------------|----|
| 設 置 | 昭和59年3月 | |
| 所 在 地 | 敦賀市野神12号16番 | |
| 敷 地 面 積 | 5,585.17㎡ | |
| 構 造 | 鉄筋コンクリート2階建 | |
| 給食提供方法 | 給食センターから配送（給食センター校） | 7校 |
| | 自校に調理場がある（自校調理校） | 9校 |

敦賀市の学校給食の現状〈課題点〉

| | | | |
|---|---|---|--|
| <p>給食センター 課題</p>  <p>創設から 39年経過し 老朽化</p> | <p>給食センター 課題</p>  <p>食物アレルギー 対応ができない</p> | <p>学校給食全体 課題</p>  <p>学校給食衛生 管理基準が 満たしていない</p> | <p>学校給食全体 課題</p>  <p>センター方式と 自校式給食の 管理方法の違い</p> |
|---|---|---|--|

子どもたちに安心・安全な学校給食の実現に向けて

新給食センターの整備

食物アレルギー対応調理室 整備

センター校給食に統一(16校)

新給食センターの概要

子どもたちに安心・安全でおいしい給食を届ける新学校給食センターの実現に向けて

| 敷地面積 | 構造等 |
|----------------|---------------------|
| 7,500~8,000㎡程度 | 鉄骨造2階建 / 延床3,400㎡程度 |



● 建物イメージ(県内施設)

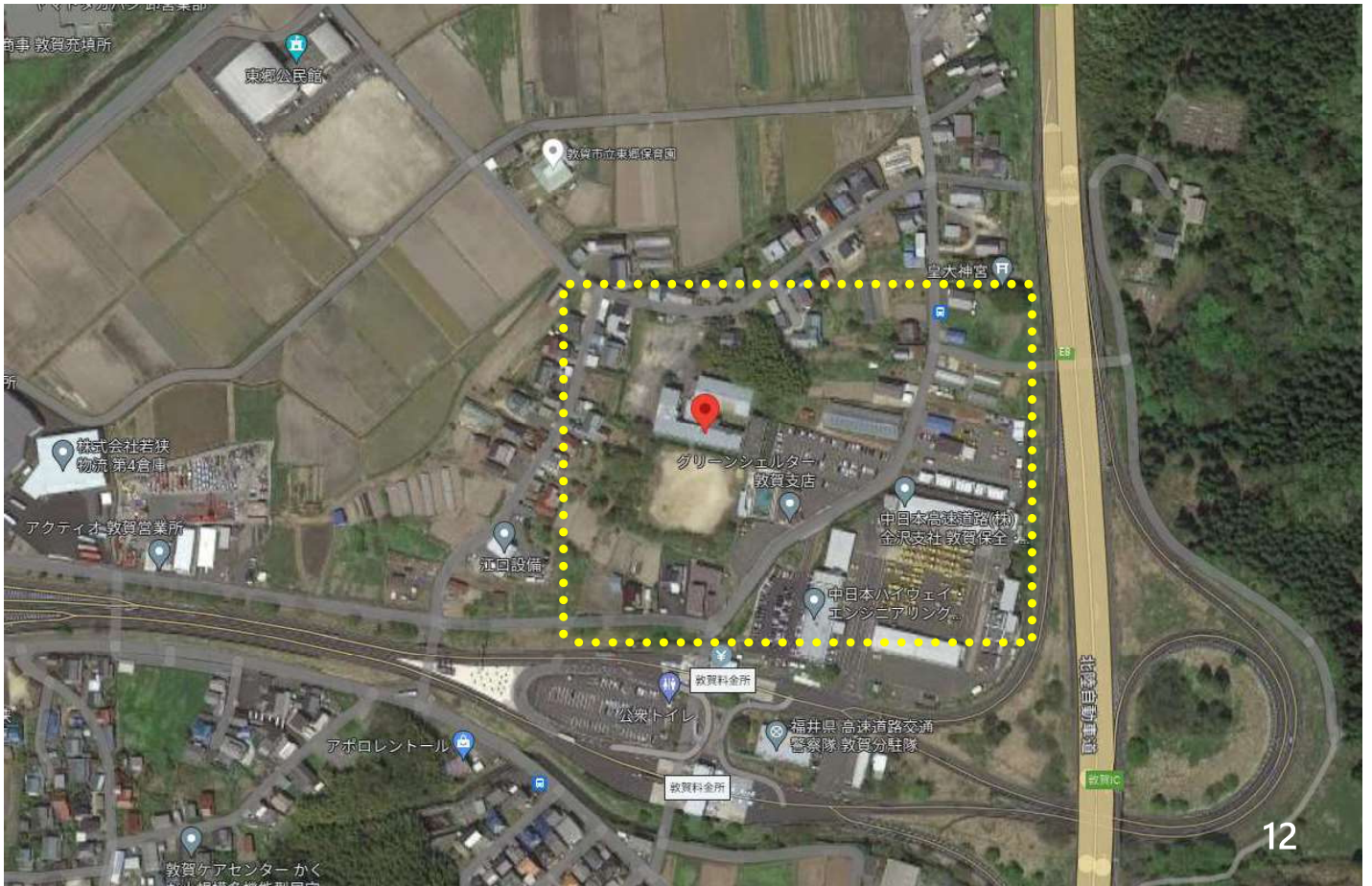


越前町学校給食センター



坂井市三国学校給食センター

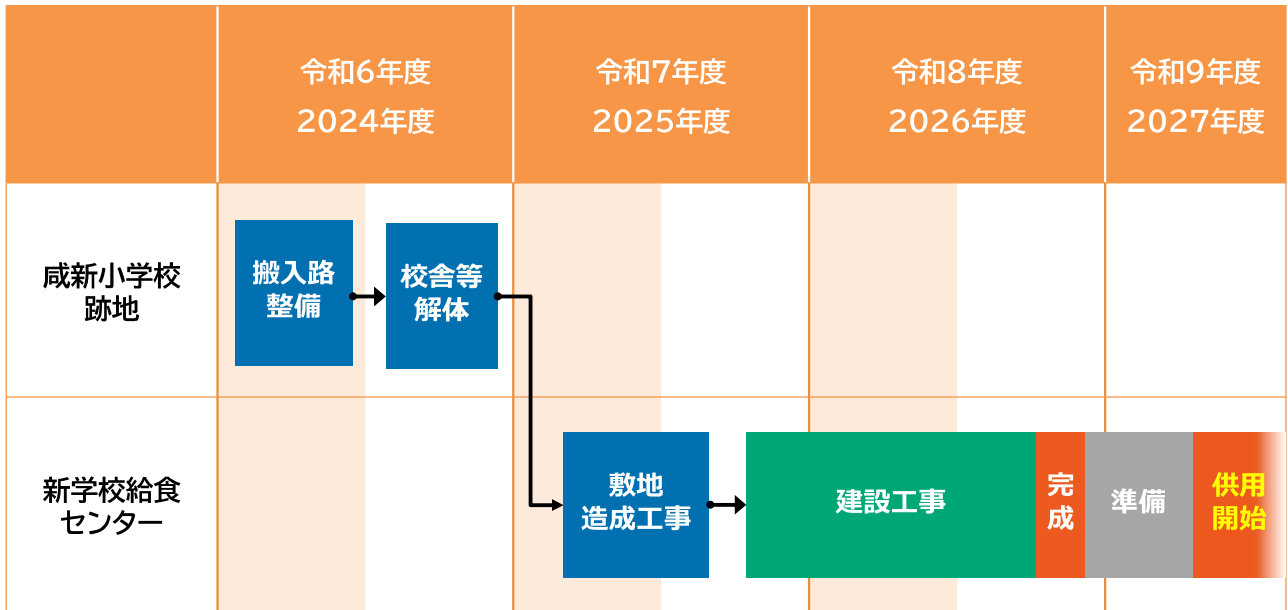
整備イメージ (位置関係)



整備イメージ



今後のスケジュール



3

文化財センターの整備

文化財センターの目的

- 敦賀市の各種文化財を調査、整理、保存し、学校教育や、市民の生涯学習に活用する。



文化財センターの概要

<文化振興課分室機能>

- 敦賀市内の発掘出土品の整理、調査、収蔵
- 小中学校の校外学習受け入れ、市民講座実施



出土品整理作業



校外学習受け入れ

17

文化財センターの概要

<旧葉原小学校機能>

- 博物館収蔵資料、民具の収蔵、調査、活用



民具見学会



分類・調査

18

文化財センターの概要

<文化財センター独自機能>

- 市民の学習、調査、発表の支援、協同研究



学芸員による調査支援



図書閲覧・自由研究